

三国小学校区協働のまちづくり協議会

発行：平成30年9月15日

発行責任者：岩澤 正規

みくに秋祭り

「お月見会」も同時開催！

ことしも盛大にやるば〜い！

日時 平成30年9月22日(土) 11:00~16:00
場所 三国小学校運動場(雨天時：三国小学校体育館)
イベント ステージ部門、露店部門、お楽しみ抽選会など



地域防犯の合言葉は「4時に会いましょう！」

●**防犯部会**は、平成27年度から「青パト」による校区内のパトロール活動を続けてまいりました。活動を通じて感じるのは「**児童の下校時に地域の人の姿が少ない**」ことです。子どもを狙った犯罪の多くは、その下校時に発生しています。そこで、本年度より「**4時に会いましょう！**」を合言葉に、下校時の児童の見守りを提唱いたしました。二学期が始まりました。一日10分で結構です。子どもたちがご自宅の前を通る時間帯に、どうぞ外に出てひとこと声をかけてください。子どもたちは、その姿と声にきっと安心感を得ることでしょう。**地域防犯の要は「地域住民の目」**です。皆さまのご協力を何卒よろしくお願いいたします。

三国小で「出前授業」を行いました！

●**防犯部会**は、5月11日(金)、昨年に続いて三国小学校4年生に防犯出前授業を行い、青パトによる防犯活動等を紹介しました。

●**防災部会**は、5月29日(火)、三国小学校4年生に防災出前授業を行い、強い地震が発生した時の学校周辺の危険箇所や安全な場所について紹介し、「自分の命は自分で守る」ことの重要性をお話しました。

●**環境部会**は、7月5日(木)、三国小学校4年生に環境出前授業を行い、地球の温暖化防止のために自分たちができることや家庭ごみの分別、リサイクルなどについて理解してもらいました。



「防災避難訓練」を視察しました！

●**防災部会**は、5月29日(火)午前、地域の防災リーダーとともに、強い地震に続いて火災も発生したという想定で行われた三国小学校の防災避難訓練を視察しました。先生や全校児童は、身を守る行動をとったあと速やかに避難行動を行いました。今後さらに、災害に関して地域と学校が連携を強化する必要があると考えています。



三国が丘2 行政区

三国が丘2 区長 橋間 順平

三国が丘は、石器時代から縄文、弥生、古墳、歴史時代と間断なく生活の場であった地域です。当区には、5世紀中頃から6世紀後半に造られた前方後円墳の横隈山古墳や横穴式石室を持つ円墳の井の浦1号墳があります。

当区は、平成4年4月1日に、横隈区みくに野自治会の324世帯が分区して発足し、平成30年4月1日現在、529世帯、1,290名の行政区です。住民は、居住年数が40年以上もしくは30年近い人が多いことから高齢化が進み、三国小校区で一番の高齢化率(39.5%)となっています。

当区では、「相互理解、融和精神を理念に、地域の発展で、安心安全で、楽しく、きれいな街づくりを目指します」を自治会活動方針として、挨拶、声かけ運動、世代間交流の推進、安心安全対策の強化、PTA・明交会(老人クラブ)・外部団体との交流等で、「地域で子供たちを育てる」を目標において、活動を行っています。また、ボランティア活動への参加、参画勧誘推進を行い自治会行事の見直しを行っていく事により、区の活性化を図っています。三国が丘2区ふれあいネットワーク推進委員会の方針として、「当区内から孤独死を出さない」を目指して、見守り・声かけ・訪問活動・食事会・バスハイキングなどの交流活動を行い、また、「にこにこサロン」で多数の催しを計画して、お茶飲み会を開催することで、多くの区民とのコミュニケーションの場を多く持ち、孤独死の撲滅を図っていく。当区は、区民全員を対象にした行事は、秋のレクリエーション(グランドゴルフ大会)、年3回の公園の草取り・清掃活動と高齢者を対象にした敬老祝賀会が最大の行事です。

今後は、自治会中心に、明交会・子供会等の交流会を図り、「住みやすく、安全で安心で、楽しく、きれいで、活気あるまちづくり」を目指し、自治会運営の改革を、覚悟を持って取り組み、共に働き、共に進み、共に生きる協働のまちづくりを目指します。



西鉄三国が丘駅



横隈山古墳



井の浦1号墳

美鈴の杜 行政区

美鈴の杜区長 間註所紀之

「おはよう」「おはようございます」朝の通学時には子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

美鈴の杜付近一帯は丘陵地で元福岡県種畜場でしたが、三沢東土地区画整理事業として、平成12年から発掘調査と宅地造成が行われました。美鈴の杜も平成15年頃から徐々に入居が始まり現在432世帯が住んでいる新興住宅街で、西側はこんもりとした森が控えた閑静な住宅地です。西鉄三国が丘駅も近く、街の東側・北側には商業施設や医療機関も揃っており住民の日常生活を支えています。住民は若い世帯の構成比率が高く、休日には南側にある芝生の広場、遊戯施設の整った北中尾公園で、子ども達がボール遊びをしたりして歓声を上げています。また、災害時に重要とされる『共助』を高めるには、新興住宅街にありがちな稀薄な人間関係にならないように住民のコミュニケーションを図る必要があります。夏祭り、ふれあいフェスティバルを住民主導で開催、公園の草刈りボランティア作業など活動することにより親睦の機会が増え、新たな絆ができる事を願っています。これからも『美鈴の杜に住んで良かった!!』と自慢出来る街を目指していきます。

